

## 経済学部プレゼンテーション大会 2020 の開催にあたって

経済学部長 山崎朗

経済学部単独でプレゼンテーション大会を初めて開催したのは、2013年です。今年は8回目の開催となります。経済学部プレゼンテーション大会は、年を重ねるごとにレベルアップしていますが、コロナ感染問題のため、今年度はオンライン開催となります。例年と異なる点があり、大会参加者のみなさんにはご苦勞をおかけします。

本大会は、プレゼンテーションを行うみなさんのためだけの大会ではありません。中央大学の4つの附属高校の高校生、一般の参加者もみなさんの調査研究の発表を楽しみにされています。また、この大会は中央大学経済学部におけるゼミナール活動の研究力の高さを外部に示す機会ともなっています。

プレゼンテーション大会への参加を、ぜひみなさんのさらなる学びや研究のための契機としていただきたいと思っています。プレゼンテーション大会参加に向けてメンバーとともに考え、調べ、分析し、パワーポイントを仕上げ、その成果をプレゼンテーションするという貴重な経験を、今後の調査・研究への展開につなげていってください。

本日審査を担当されている先生方からも今後のみなさんの研究を推進するために参考になるコメントをいただけるはずで、それらのコメントも踏まえながら、卒業論文の執筆や懸賞論文への応募、全国レベルのプレゼンテーション大会の参加など、多様な展開へと向かわれることを心より祈念しています。

ぜひ、緊張せずに、調査研究の成果を堂々と発表してください。

このような大変な状況の中で、学内大会が開催できたことを心より嬉しく思います。例年のプレゼンテーション大会よりもスケジュール間が短く、直接集まることができないという点から、参加チームが減ってしまうのではないかと心配しておりましたが、なんと昨年よりも多くのチームが参加してくださいました。オンラインという新しい形での取り組みでしたので、運営方法やルールがいまいち見えない中でのエントリーだったと思います。我々運営側でも分からないことが多々ありました。海外や地方に訪問できず、研究・調査が思う通りに進まなかったゼミもあったと思います。それぞれにもどかしい気持ちがある中でここまでスムーズに運営出来ているのは、新しいルールを素早く受け止めて対応して下さったゼミ生の皆さまや、協力して下さった経済学部事務室の方々、先生方のおかげです。この場をお借りし、心より感謝を申し上げます。皆さまの今までの努力を結集させた発表動画を楽しみにしております。後悔のないよう頑張りましょう！

経ゼミ連代表 村瀬孔見

新型コロナウイルスの影響で、今年の経済学部プレゼンテーション大会は、初のオンライン形式となりました。例年通りとはいかないものの、大会を無事に開催することができ、大変嬉しく思います。こうして開催に漕ぎつくことができたのも、経ゼミ連顧問の先生方や経済学部事務室の方々、参加ゼミの皆様など、挙げればきりがなほ多くの方々のご協力があったからです。この場をかりて、感謝申し上げます。

ゼミ生の皆様は、慣れないオンラインという環境で、思うように研究が進まず苦勞されたかと思ひます。しかし、苦勞しながらここまで研究を続けたことは、皆様の成長へと繋がったはずです。その集大成が遺憾なく發揮されるよう、経ゼミ連一同、大会運営に努めてまいります。最後まで、どうぞよろしくお願ひいたします。

経ゼミ連企画局長 笹原次顕